

令和6年度 2月の園だより



2月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	豆まき 頭髪検査
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	園開放
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念日
12	水	
13	木	避難訓練
14	金	園開放・身体計測 誕生日会
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	ひなまつりお茶会 (第二みみょう年長児)
19	水	みみょう文庫 (今年度最後)
20	木	
21	金	2歳児きりん組進級説明会 園開放
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	園開放



2月21日(金)に予定しています「2歳児きりん組進級説明会」は、制服の採寸や幼児教育無償化に伴う給食費の徴収について、説明会をします。また、第二みみょうこども園、現年少担当職員による“あか組さんってどんなところ?”など質問できる機会も計画中です。ぜひ、ご参加ください。

今後の行事予定

3・4月の行事予定は別紙にて配信します。ご確認、よろしくお願いいたします。

＜一人ひとりの思いを大切に ～心あたたまる豊かなやりとり～＞

園庭では、きりん組さんと保育士と一緒に植えたちゅうりっぷの球根が土の中から少し芽を出しています。今年度も残り2か月となりました。子どもたちとの一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

1月末には、0歳児クラスは保護者の方と個人懇談や1、2歳児クラスは給食試食会を開催することができました。体調不良等でご参加していただくことができなかった方も、参加を楽しみにされていたことと思えます。これからも、園へお越しいただく機会も工夫し、保護者参加型行事など通して、子どもの育ちを感じ一緒に喜び合えるみみょう保育園でありたいと思っております。ありがとうございました。

ある夕方、お迎えの時のお話です。2歳児クラスAちゃんが「おかあさん、おかえり」Aちゃんのお家の方は「ただいま。人形劇たのしかった?」と帰り支度をしながら親子でお話している場面に遭遇しました。Aちゃんも嬉しそうに今日の出来事をお話しています。すると、Aちゃんのお家の方が「今日は第二みみょうこども園から自分で荷物持って帰ってきたの? (Aちゃん「うん」) ありがとう。助かったよ。」とAちゃんに優しく言葉を掛け、私はAちゃん親子の心温まるやりとりに出会い、嬉しい気持ちになりました。

また別日も、保育士と保護者の方がお子さんの育ちをエピソードや姿から共有する中で、お家の方がご家庭で保育園の嬉しかったこと悲しかったこと、お友だちのことなどたくさんのやりとりを通して子どもの思いを受け止めたり、時には「(お友だちの)〇〇くんも優しい子なんだよ」など対話を重ねてくださっていることなど、2歳児クラスの保育士が「おたより帳にこんな素敵なエピソードを書いてくださっています」と、嬉しそうに話してくれることもありました。赤ちゃんのころから、子どもを一人の人として受け止め、尊重し、発達や年齢に合わせたやりとりを大切にすることで、時に相手の思いも伝えながら、肯定的に返し子どもの豊かな心を育てていくのだと親子の愛がにじみでるような雰囲気のエピソードを通して、改めて考える機会となりました。

赤ちゃんの頃からたっぷり愛情をそそいでもらい、大好きな人との心温まる対話の積み重ねが、人と人とのつながりを更に深め、他者への期待や信頼へつながり、人と関わるのが好きな人へ育っていきます。

そうして、信頼関係を育む中で、言葉も豊かになり、「どうして?」「なんで?」など、さまざまなことへ興味・関心が広がっていく子どもたちと私たち大人も心あたたまる豊かなやりとり(対話)を重ね、時には大人自身も感じたこと、思ったことを伝えることも大切にしていきたいと思えます。小さな頃から、自己を発揮し、自己肯定感を育み“じぶんはじぶんのままでいいんだ”と自分を大切にできる人へ、そして、みみょうの保育理念「感謝と思いやりのある、自主的な行動のとれる子」へと育てていくのです。

みみょう保育園ではいつも子どもの話が溢れています。0、1歳児の最も大切な乳児期は信頼できる人との心と心を通わせた関わりややりたいことを満足いくまでできる環境の中でその子らしさを(主体性)を発揮し、2歳児きりん組さんのように自分で考えたことを実現できることを喜び、そして、他者との関わりや集団の中で社会性を育みながら育ち合っています。年齢に応じた子ども同士のつながりの中で、嬉しいことも、悔しいことも、たくさんの経験を積み重ね、自分の思いを伝えることができたり、相手の思いに気づいたり、心豊かに育ててほしいと願っています。

1月末に保護者アンケートも配信し、たくさんのご意見や思いもいただいております。また、給食試食会にご参加いただいた方からもたくさんの質問や悩みなど伺える機会にもなりました。これから、保護者のみなさまにはアンケート結果や質問事項など共有したいと考えています。子どもたちにとっても保護者のみなさまにとっても安心して預けていただける園を目指して、職員一同保護者のみなさまとも対話を重ね“楽しい保育”を目指して参ります。よろしくお願いいたします。



みみょう保育園 園長

子育て応援コラム

「6つになった」

- 1つのときは なにかかも はじめてだった。
- 2つのときは ほくはまるっきりしんまいだった。
- 3つのとき ほくはやっとほくになった。
- 4つのとき ほくはおおきくなりたかった。
- 5つのとき なにからなにまでおもしろかった。
- 今は6つで ほくはありっただけおことうです。
- だから いつまでも 6つでいたいと ほくはおもいます。



くまのプーさんの原作者 A A ミルンの詩 (訳 周郷 博)

0歳、初めての世界に飛び出して、1歳、見るものする事すべてが初めて。2歳の頃は何をすることもたどたどしく、3歳では自我が大きく膨らんで「ほくになった」と自覚します。4歳は、目の前の世界がますます広がり年長児にあこがれを抱き、「あんなふうになりたい」「おおきくなりたい」と思い、園生活を自分のものに始めた5歳は「なにからなにまでおもしろかった」と。そして仕上げの6歳は、自分は“おことう”と自信に満ちています。このように子どもは成長していきます。未来を生きる子どもたちの成長を促し支える場が園、そして温かい家庭です。

119番通報  
できますか?



消さないで  
あなたの心の  
注意の火

広島市南消防署  
警防課 救助係